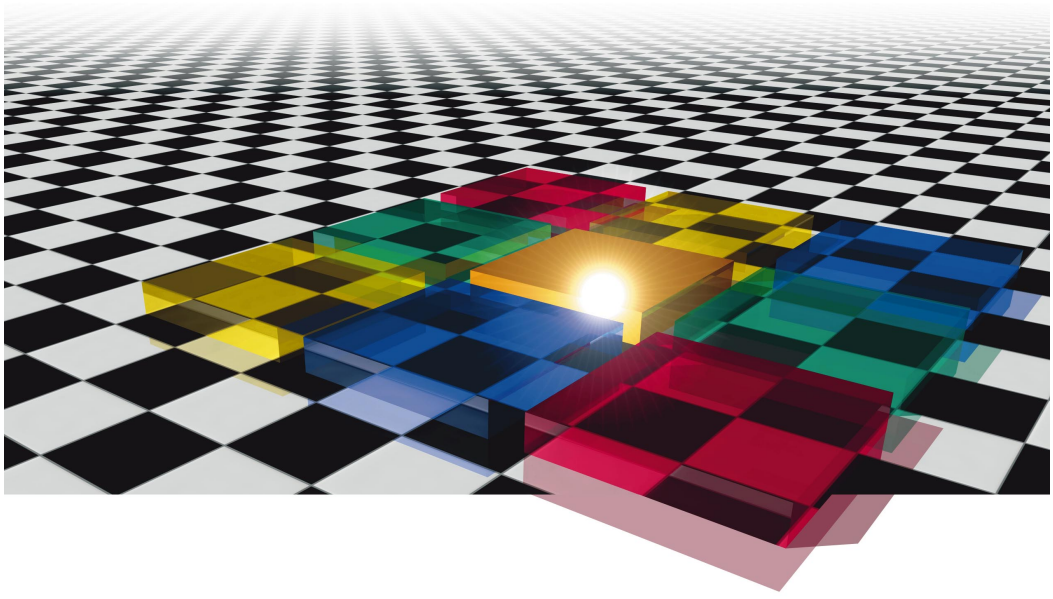
FACILIS IM Ver 3.0J

PostScriptファイルの作成

QuarkXPress 3.3J

Mac OS 8.1＋LaserWriter 7.2.1

No.003QX33-02



三菱製紙株式会社
ダイヤミック株式会社

PostScriptファイルはレイアウトソフトとOS，プリンタドライバの組み合わせでいろいろな種類のものが考えられます。FACILIS IM Ver.3.0Jで面付けする際には，このドキュメントをお読みの上，以下の点に注意してPostScriptファイルを作成して下さい。また出力できない場合は元データの作成プロセスをご確認下さい。

（1）PostScriptファイルを保存する際は，ハードディスクの空き容量を十分確認してから行って下さい。目安は保存したPostScriptファイルの3倍程度です。不足している場合は内容の欠けた（異常に容量が小さい）ファイルができて正しく面付けできません。

（2）FACILIS IM Ver.3.0Jではこれまでのバージョンと同様に，コンポジットファイルまたは色分解ファイルを面付けすることはもちろん，コンポジットファイルと色分解ファイルを混在して面付けすることもできます。ただし，アプリケーションによっては，コンポジットファイルだけにしか対応していないものもありますので，他の色分解ができるアプリケーションのPostScriptファイルと混在させる場合はご注意下さい。またコンポジットファイルと色分解ファイルを混在させた際に，うまく出力できない場合はいずれかのファイルに統一するか，色分解ファイルにして面付けを行って下さい。

（3）カラーの画像データをレイアウトソフト上に貼り込む場合には，CMYK形式になっているものをご使用下さい。出力機のRIPによってはRGBデータでもCMYK出力できるものもありますが，出力トラブルの原因になります。

（4）各種画像処理ソフトで作成した画像データをレイアウトソフトに貼り込む場合はEPS形式やTIFF形式等，一つの画像形式に統一する方が出力トラブルを減らせます。

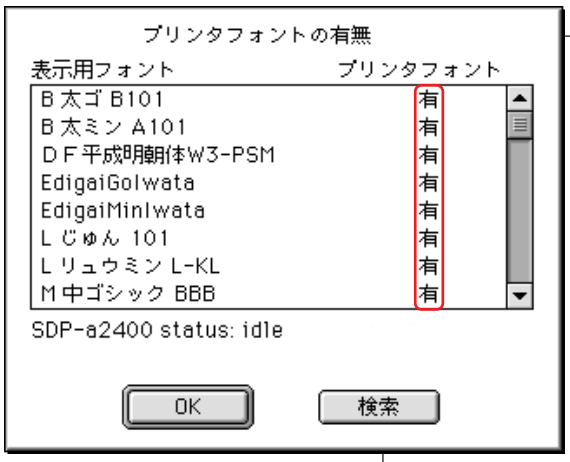
（5）DCS（Desktop Color Separation）ファイルが貼られているデータの場合は，必ず色分解の設定をしてからPostScriptファイルに保存します。

（6）特色データの分版には以下の制限にご注意下さい。PostScriptファイルまたはEPSファイルに，特色に関するDSC（文書構造化の規約:Document Structuring Convention）コメントが存在し，（%%DocumentCustomColors:,%%CMYKCustomColor:）かつ，B-Makerで正しい特色名が指定されていなければなりません。また特色名の注意点として各種アプリケーション全般にいえることですが，特にAdobe Illustratorでは日本語の使用は避け，特色名には「(」や「)」の半角小括弧は使用しないで下さい。

（7）PPDファイルを必ず入手して下さい。PostScriptファイルを作成する際には，出力機のPPDファイル（PPD: PostScript Printer Description）を出力機メーカーやサービスビューローから入手してからPostScriptファイルを作成して下さい。出力機のRIPやアプリケーションがバージョンアップした際などに，PPDファイルが更新されることがありますのでご注意下さい。

（8）RIPやプリントサーバなどで，OPI（Open Prepress Interface）機能を使用して出力する際は，各システムの取扱説明書をご参照下さい。

PostScriptファイルを作成する前に，まず補助メニューの「プリンタフォントの有無...」を確認して下さい。



検索ボタンを押してフロントで使用しているフォントとRIPにダウンロードされているフォントの有無を確認して下さい（詳しくはQuarkXPress 3.3Jの取扱説明書をご参照下さい）。

次に補助メニューの「フォント使用状況...」と「画像使用状況...」を確認して下さい。

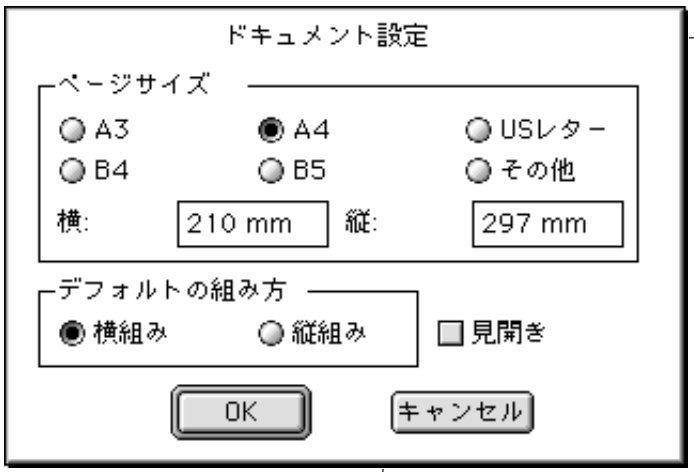
ドキュメント中に使用されているフォント名の前に，「－（マイナス）」の表示がある場合には，別のフォントに置き換えるか，RIPに新たにフォントをダウンロードして下さい。

状況が「OK」，**印刷**の下に「チェック」が入っていることを確認して下さい。状況が「移動」や「変更」と表示されている場合は，更新ボタンを押してリンクして下さい。

ファイルメニューから「セレクタ」を選択します。

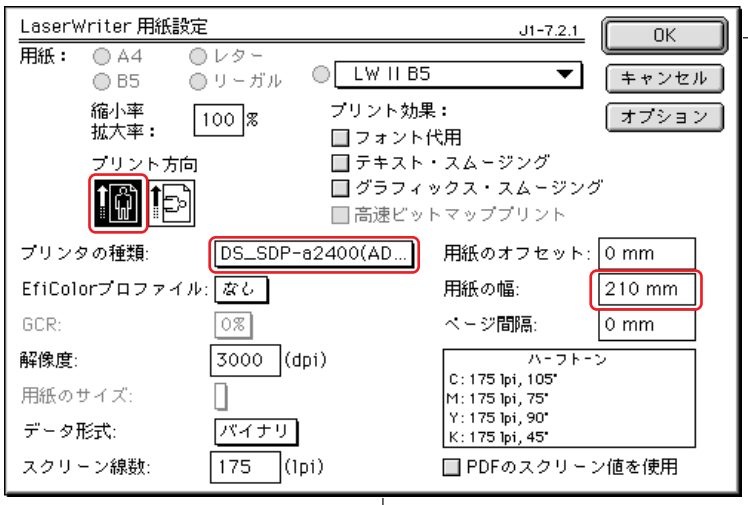
「LaserWriter」を選択し，出力機名が表示されたら『再検討...』ボタンを押して出力機種のPPDファイルを選択し，左図のように設定して下さい。

ファイルメニューから「ドキュメント設定...」を選択します。

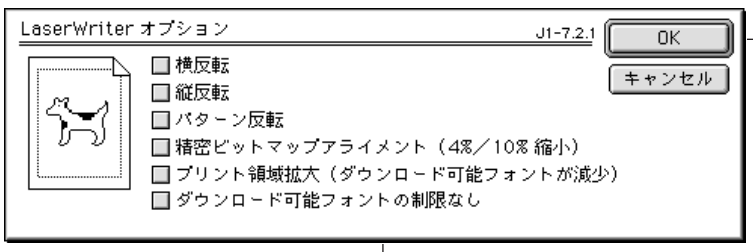


ファイルメニューから「ドキュメント設定」を選択し，ページサイズを確認して下さい。

ファイルメニューから「用紙設定...」を選択します。



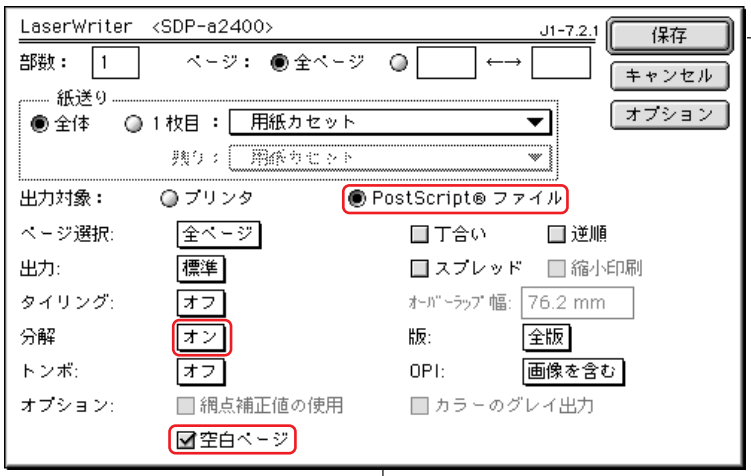
拡大率縮小率：通常は100%で設定します。ただし縮小したドキュメントを面付けする場合は任意の%を入力し，**「用紙の幅」**に縮小後のページサイズの横の数値を入力します（FACILIS IM Ver.3.0Jで面付けする際は，ページ・サイズに合わせてPostScriptファイルを縮小してリンクさせることができます)。
プリント方向：どのような場合でも必ず「縦方向」を選択します。PostScriptファイルに保存する際にこの部分は，ページを作成した置き位置を意味しますので，横長でページ・レイアウトをした場合でも，縦方向を選択します。**プリント効果：**全てのチェックを外します。
プリンタの種類：出力機のPDF（Printer Description File）を選択します。同じイメージセッタのPDFファイルでも出力機によっては各色版の網角度の設定が違うものもありますのでご注意下さい。
EfiColorプロファイル：「なし」を選択します。
解像度：出力解像度を入力します。
データ形式：「バイナリ」を選択します。
スクリーン線数：出力線数を入力します。
用紙のオフセット：「0」にします。
用紙の幅：ドキュメント設定で確認したページサイズの横の数値を入力します。またデータに裁ち落としがある場合でも，横幅の数値をそのまま入力します（(裁ち落とし分の情報は自動的に含まれます)。
ページの間隔：「0」にします。
PDFのスクリーン値を使用：必要に応じてチェックします。

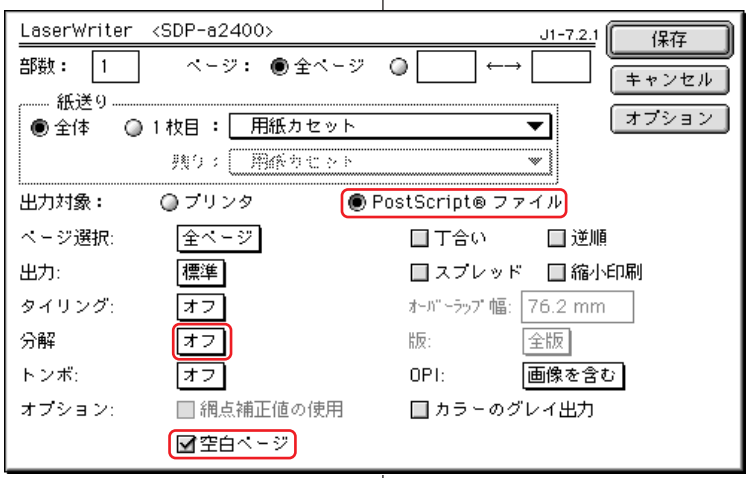


全ての項目のチェックを外します。また膜面などの設定のために他の項目をチェックする場合もありますがここでは他のチェックを外し，出力する際にFACILISのX-Plateで設定するか，RIP上で設定します。

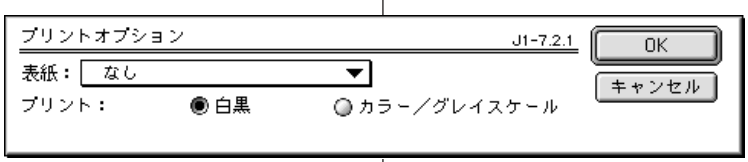
※FACILIS IM Ver.3.0Jでは，「ダウンロード可能フォントの制限なし」のチェックをしなくても面付けできます。

ファイルメニューから「印刷...」を選択します。





部数：「1」にします。
ページ：通常は「全ページ」を選択しますが，ページ数が多い場合には「ページ指定」を選択し，数回に分けてPostScriptファイルを保存して面付けする時にまとめることもできます。
出力対象：「PostScriptファイル」を選択します。
ページ選択：「全ページ」を選択します。
出力：「標準」を選択します。
タイリング：「オフ」を選択します。
分解：色分解ファイルを保存する際は「オン」(左上図)を，コンポジットファイルを保存する際は「オフ」(左下図)を選択します。
トンボ：「オフ」を選択します。トンボはFACILISのB-Makerで設定します。
オプション：「カラーのグレイ出力」のチェックを外します。またデータ上に白紙ページが含まれている場合には「空白ページ」を必ずチェックします。このチェックを忘れると，白紙ページを無視してPostScriptファイルを書き出してしまうため，面付けする際にページの順番が狂ってしまいます。また「丁合い」，「逆順」，「スプレッド」，「縮小印刷」のチェックは外します。
版：通常は「全版」を選択しますが，追い刷り等のため特定の色版を入れ替えるような場合には，各色名を選択します（色分解の場合のみ）。
OPI：通常は「画像を含む」を選択しますが，RIPの種類やOPI環境によっては他の項目を選択します（各出力機の取扱説明書を参照して下さい）。



表紙：「なし」を選択します。
プリント：2色以上のデータの場合は「カラー／グレイスケール」を，モノクロ・データの場合は「白黒」を選択します。

最後にファイル名を入力（ファイル名の末尾は必ず".ps"）し，保存ボタンを押します。

※FACILIS IM Ver.3.0JのX-Plateでは,ファイル名の末尾に.psの拡張子がないと，面付けするデータを認識できません。

検証環境（1998年8月15日実施）

使用機種：Power Macintosh 9500/150
システム：Mac OS 8.1
システムメモリ：160MB

アプリケーション：QuarkXPress 3.31Jr2（サブバージョン 2） および r7（サブバージョン 7）
アプリケーションメモリ：5.3MB
検証用PostScriptファイル容量：63.6MB

面付けデータ仕様：A2（4面付け）およびA3ワイド（2面付け）
プリンタドライバ：LaserWriter 7.2.1
PPDファイル：DS SDP-a2400AM_YCKM_J
検証に使用した出力機及びRIPとそのバージョン（括弧内に表示）：
　三菱製紙株式会社　SDP-α2400（大日本スクリーン製造株式会社
　　Flash-RIP AD-310PM Ver.2.0.1）
　三菱製紙株式会社　SDP-1810（RipMate2.30 Harlequin Scriptworks Ver.3.3）
　富士ゼロックス株式会社　Acolor931（SM ICS Ver.5.0.2）
　沖データ株式会社　OKI MICROLINE 905PSII＋F

商標について

QuarkXPressはクォーク社の商標です。
Mac OS, LaserWriterはアップル・コンピュータ社の商標です。
Illustrator, DSC 3.0はアドビシステムズ社の商標です。

その他、本書に記載のある他社商品名は、各々の会社が所有する商標です。

PostScriptファイルの作成
**　QuarkXPress 3.3J（Mac OS 8.1＋LaserWriter 7.2.1）**

1998年9月1日　発行

編集：三菱製紙株式会社　感材テクニカルセンター
　　ダイヤミック株式会社　印刷感材営業部　販売促進グループ